

代表セルヲナルモ亦ク国際労働會議ニ出席スルモノハ殆  
ト資本家側及政府代表者ヲキ故ク以テ真ノ無差  
階級解放運動ニカアルモノト云ク難ク此ノ意味ニ於  
テ本身ノ国際労働會議ニ對シテ然レ然トシテ如何  
ル態度ニ出ワルヤ未ク決セサルニ免争現在ノ有様ニテ  
ハ何事モ其階級ノ上ノ効果アルモノニ非ス之レ要スル  
ニ政府又亦要キテ吾労働者ニ實力ナキ者メト降  
擧スルモノニテ諸君ハ今後ノ無差階級解放運動  
ニ充分ノ努力アラントシテ切望スルモノナリト激勵  
壇

無題

神戸聯合會

木村鏡吉

国際労働總會ニ直接意見ノ交換ヲカスモノニアラス

故ニ日本ノ代表一行ノ予定モ何所迄徹底シ得ルヤ  
否ヤヲ疑フ要スルニ日本ノ労働運動カ未ク幼稚コレヲ  
労働者ノ自覺足ラザル結果国際労働總會ニ於テ  
充分ノ意見表出ヲ得ス今日迄ノ労働運動ヲ  
顧シテ日本ノ法律カ三重ニ重吾々ノ行動ヲ阻害  
テ法律ノ精神ヲ没却スルカ故ニ今日ノ如ク労働  
運動カ墮々トシテ展開セスト暗ニ官憲ノ行動ヲ  
難シク降壇ス

西尾 末廣

労働總會中後露國ヲ經由シ今國ノ状態ヲ觀察シテ企テ先ヲモス  
ニ至リト露國ノ現状ニ言及シ露國ノ社会主義思想發達シ宗教ヲ嫌  
忌シ居ルニ拘テ至ル処寺院ノ多ク所在ニ一驚ヲ喫シタリ何故  
之レヲ保存シ居ルヤト云フニ寺院ヲ廢滅スル國民ノ反感強シキガ